

NY マーケットレポート (2016 年 6 月 2 日)

NY 市場では、序盤に発表された米 ADP 雇用統計が市場予想と一致したことから、ドルの反応は限定的となった。ただ、OPEC 総会で、新たな生産目標が合意できなかったとの報道を受けて、原油価格が大きく下落し、その影響で株価も下落となったことから、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は一段の下げとなった。ただ、その後に発表された米石油在庫統計では、原油在庫の減少が明らかとなり、供給過剰に対する懸念が後退したことが好感され、原油価格は大きく反発した。そして、株価も上昇に転じたことから、ドル円・クロス円も終盤にかけて堅調な動きとなった。一方、ECB の物価予想では、2017 年、2018 年の予想が据え置かれたことから、物価上昇の期待に反する結果となったことが嫌気され、ユーロは主要通貨に対して軟調な動きが続いた。

2016年 6月2日 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.96	109.59	108.85
EUR/JPY	122.17	122.62	121.98
GBP/JPY	157.32	157.97	156.99
AUD/JPY	78.72	79.53	78.69
EUR/USD	1.1213	1.1220	1.1183

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	109.14	108.87
EUR/JPY	122.29	121.91
GBP/JPY	157.70	157.04
AUD/JPY	78.80	78.53
EUR/USD	1.1217	1.1183

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	16562.55	-393.18
ハンセン指数	20859.22	+98.24
上海総合	2925.23	+11.72
韓国総合指数	1985.11	+2.39
豪ASX200	5278.89	-44.28
インドSENSEX指数	26843.14	+129.21
シンガポールST指数	2795.09	+4.55

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6185.61	-6.32
仏CAC40	4466.00	-9.39
独DAX	10208.00	+3.56
STX欧州600	344.35	+0.23
西IBEX35指数	8957.90	+41.00
伊FTSE MIB指数	17767.30	-43.55
南ア 全株指数	53716.91	+198.55

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.88	109.07	108.54
EUR/JPY	121.42	122.09	121.07
GBP/JPY	157.03	157.76	156.60
AUD/JPY	78.68	78.71	78.32
NZD/JPY	74.10	74.18	73.83
EUR/USD	1.1153	1.1217	1.1145
AUD/USD	0.7227	0.7233	0.7202

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17838.56	+48.89
S&P500	2105.26	+5.93
NASDAQ	4971.36	+19.11
日経225 (CME)	16605	-250
トロント総合	14136.99	+73.45
ボルサ指数	45508.31	-49.30
ボエスパ指数	49887.24	+874.59

6/3 経済指標スケジュール

08:30 【オーストラリア】5月AIGサービス業指数
 09:00 【日本】4月毎月勤労統計
 10:00 【ニュージーランド】5月ANZ商品価格指数
 10:45 【中国】5月財新メディア非製造業PMI
 11:30 【香港】5月購買部景気指数
 16:00 【トルコ】5月消費者物価指数
 16:00 【トルコ】5月生産者物価指数
 16:50 ~ 17:30
 【仏】【独】【欧】【英】5月非製造業PMI
 18:00 【欧州】4月小売売上高
 21:30 【米国】5月失業率
 21:30 【米国】5月非農業部門雇用者数
 21:30 【米国】4月貿易収支
 21:30 【カナダ】4月国際商品貿易
 21:30 【カナダ】1Q労働生産率
 22:00 【メキシコ】5月総設備投資
 22:45 【米国】5月マークイット米国サービス業PMI
 23:00 【米国】5月ISM非製造業景況指数
 23:00 【米国】4月耐久財受注
 23:00 【米国】4月製造業受注指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1212.60	-2.10
NY 原油	49.17	+0.16
CME コーン	415.25	+1.50
CBOT 大豆	1144.25	+44.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.89%	0.90%
3年債	1.02%	1.05%
5年債	1.35%	1.39%
7年債	1.62%	1.67%
10年債	1.80%	1.84%
30年債	2.58%	2.62%

6/3 主要会議・講演・その他予定

- ・シカゴ連銀総裁 講演
- ・クリーブランド連銀総裁 講演 (4日)

出所：SBILM

NY 市場レポート

欧州市場

20 : 42

◀ 要人発言 ▶

タルーロ FRB 理事

- ・「大手銀行に追加資本を義務づける」
- ・「FRB は、最新のストレステストを今月発表へ」
- ・「金融政策は通常とは異なる環境にある」
- ・「英国の EU 離脱の可能性、私は考慮するだろう」
- ・「利上げしてもかなりの緩和が維持される」

20 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

欧州中銀 政策金利 0.00% (予想 0.00%・前回 0.00%)

中銀預金金利 -0.40% (予想 -0.40%・前回 -0.40%)

限界貸出金利 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)



出所：Bloomberg

20 : 50

ECB は、社債購入を 6 月 8 日に開始へ

21 : 00

ドル/円 109.02 ユーロ/円 121.94 ユーロ/ドル 1.1185

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6211.94	+20.01	ダウ 先物ミニ	17770	-9
仏 CAC40	4474.50	-0.89	S&P 500 ミニ	2096.75	-1.25
独 DAX	10210.53	+6.09	NASDAQ 100 ミニ	4519.75	-1.75

出所：SBILM

21 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月米 ADP 雇用統計 17.3 万人（予想 17.3 万人・前回 16.6 万人）
前回発表の 15.6 万人から 16.6 万人に修正



出所：Bloomberg

21 : 30

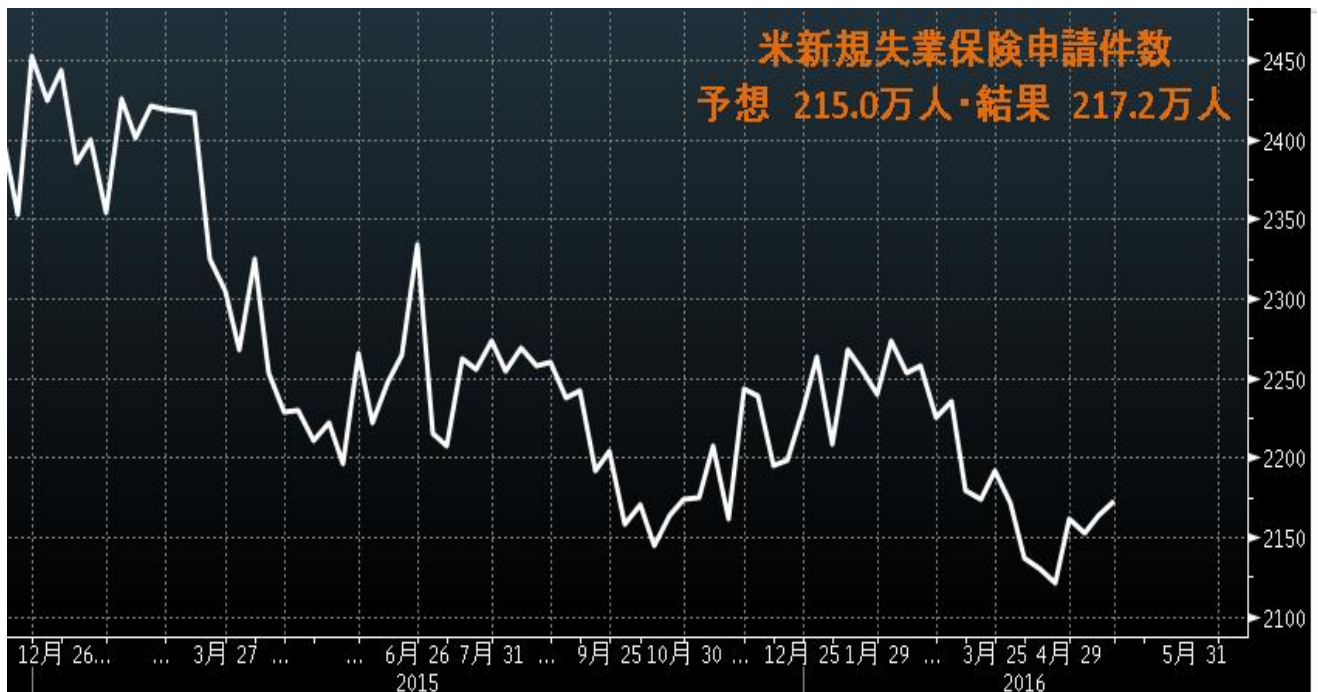
◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 26.7 万件（予想 27.0 万件・前回 26.8 万件）

米失業保険継続受給者数 217.2 万人（予想 215.0 万人・前回 216.0 万人）
 前回発表の 216.3 万人から 216.0 万人に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数・・・前週比・・・4週移動平均・・・受給者数・・・受給者比率

16/05/28	267,000	-1,000	276,750	*****	*****
16/05/21	268,000	-10,000	278,500	2,172,000	1.6%
16/05/14	278,000	-16,000	275,750	2,160,000	1.6%
16/05/07	294,000	+20,000	268,250	2,153,000	1.6%
16/04/30	274,000	+17,000	258,000	2,165,000	1.6%
16/04/23	257,000	+9,000	256,000	2,124,000	1.6%
16/04/16	248,000	-5,000	260,750	2,129,000	1.6%
16/04/09	253,000	-13,000	265,000	2,135,000	1.6%
16/04/02	266,000	-10,000	266,500	2,176,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

21:40

ECB 予想

- ・「2016年のユーロ圏 GDP は 1.6%（従来予測 1.4%）」
- ・「2017年のユーロ圏 GDP は 1.7%（従来予測 1.7%）」
- ・「2018年のユーロ圏 GDP は 1.7%（従来予測 1.8%）」
- ・「2016年のユーロ圏 CPI は 0.2%（従来予測 0.1%）」
- ・「2017年のユーロ圏 CPI は 1.3%（従来予測 1.3%）」
- ・「2018年のユーロ圏 CPI は 1.6%（従来予測 1.6%）」

21:45

OPECは、新たな原油生産合意に達していない～加盟国代表

22:00

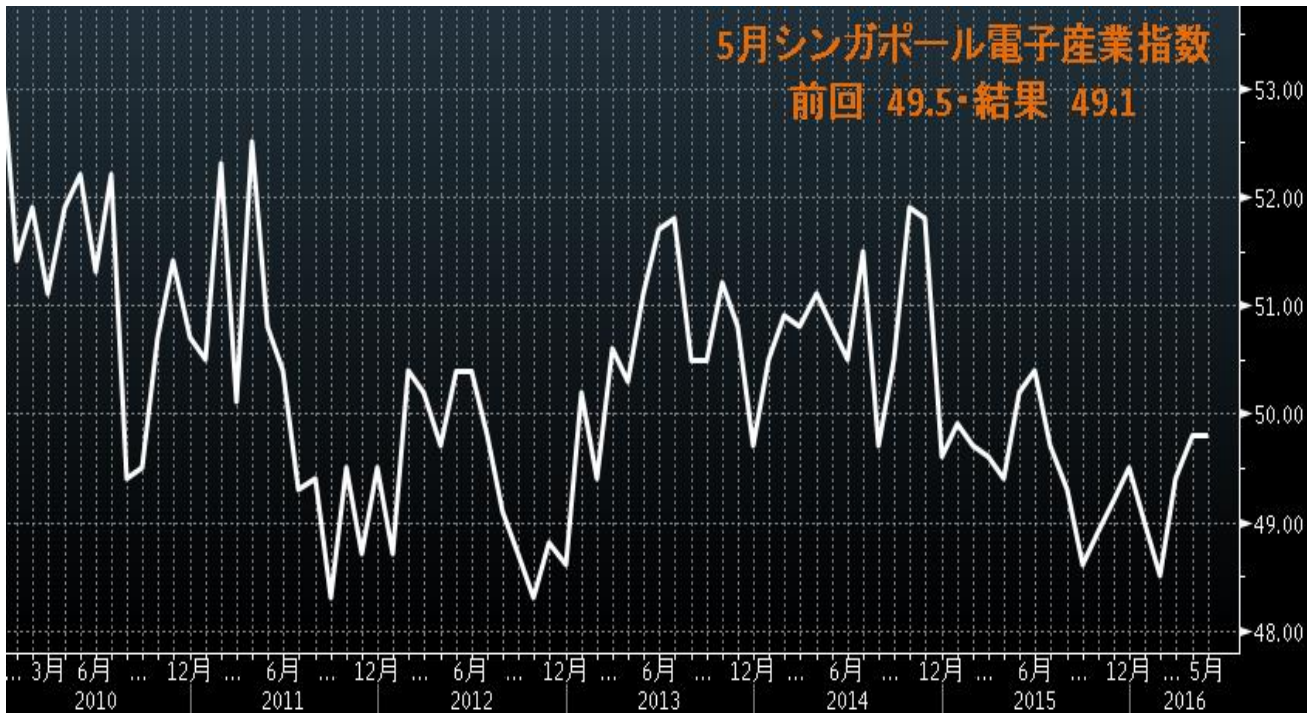
《経済指標の結果》

5月シンガポール購買部景気指数 49.8（予想 49.7・前回 49.8）

5月シンガポール電子産業指数 49.1（前回 49.5）



出所：Bloomberg



22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

4月メキシコ景気先行指数（前月比） -0.01（前回 -0.04）

前回発表の-0.03 から-0.04 に修正



22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17722.96	-66.71
ナスダック	4938.39	-13.86

出所 : SBILM

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

5 月米 ISM ニューヨーク 37.2 (前回 57.0)



出所 : Bloomberg

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、OPEC が生産目標の設定で合意できず、原油先物相場が急落したことを受けて、石油関連株が大幅安となり、全体を押し下げる動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 86 ドル安まで下落した。

23 : 35

IMF

- ・「日本の消費増税延期、弱い成長に打撃を与えるリスクを低減」
- ・「米利上げはインフレ上昇の確固たる兆候に基づくべきだ」
- ・「主要国による為替市場での協調した行動は必要ない」
- ・「主要国の為替レート動向は適切」

0 : 00

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

原油在庫・・・137 万バレル減少
ガソリン在庫・・・149 万バレル減少
留出油在庫・・・125 万バレル減少

< 経済指標のポイント >

(1) 5 月の ADP 雇用統計は、雇用者数が+17.3 万人となり、市場予想と一致し、前月の+16.6 万人を上回る結果となった。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用者は-0.1 万人、サービス業は+17.5 万人、建設業は+1.3 万人、製造業は-0.3 万人。従業員が 500 人以上の大企業の雇用者数は+3.4 万人、50-499 人の中堅企業では+6.3 万人、49 人以下の小企業は+7.6 万人。

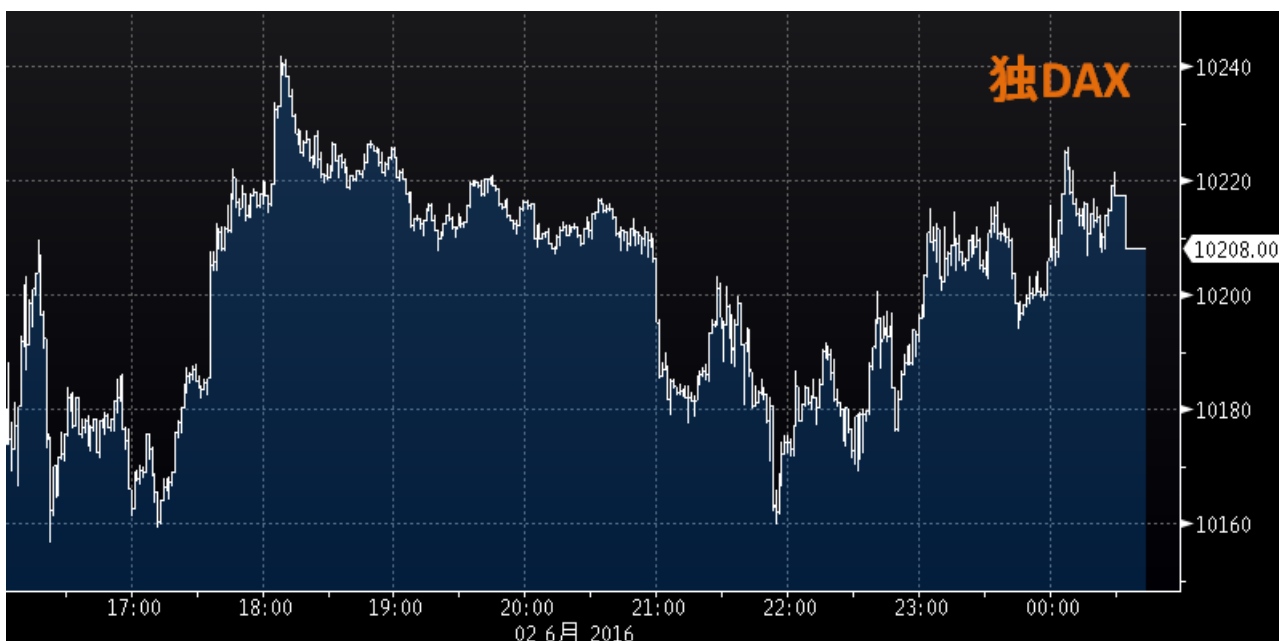
(2) 米失業保険申請件数は、前週比-0.1 万件の 26.7 万件と、3 週連続のマイナスとなり、4 月 23 日までの週以来の低水準となった。また、節目となる 30 万人を 65 週連続で下回っている。申請件数の 4 週移動平均は、前週比-1750 人の 27 万 6750 人。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+1.2 万人の 217.2 万人と 2 週連続で増加し、4 月 2 日までの週以来の高い水準となった。受給者総数の 4 週移動平均は、前週比+1.2 万人の 216 万 2500 人。そして、受給者比率は、前週比横ばいの 1.6%だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6185.61	-6.32
仏 CAC40	4466.00	-9.39
独 DAX	10208.00	+3.56
ストック欧州 600 指数	344.35	+0.23
ユーロファースト 300 指数	1350.99	+0.65
スペイン IBEX35 指数	8957.90	+41.00
イタリア FTSE MIB 指数	17767.30	-43.55
南ア アフリカ全株指数	53716.91	+198.55

出所：SBILM

< 欧州株式市場 >

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。OPEC が生産目標の設定で合意できなかったことが失望売りを誘い、エネルギー関連を中心に下落となり全体を引き下げた。一方、独 DAX は医薬品大手が買われたことで、全体を押し上げ、小幅高となった。



出所：Bloomberg

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 17766.73 (-22.94)、S&P500 2096.56 (-2.77) ナスダック 4943.15 (-9.10)

＜欧州のポイント＞

①ECB は、ウィーンで定例政策委員会を開き、主要政策金利であるリファイナンスオペの最低応札金利は 0.00%で据え置き、下限政策金利である中銀預金金利はマイナス 0.40%、上限政策金利の限界貸出金利は 0.25%と、3つの政策金利全ての据え置きを決めた。また、資産購入は月額 800 億ユーロ（約 9 兆 7500 億円）で維持した。なお、社債購入は 8 日に開始すると発表した。

②ECB のドラギ総裁は記者会見で、3月に決めた大規模な金融緩和政策について「大きく改善しており、効果的だ」と述べ、政策を維持する必要があると強調した。また、「中期的な物価見通しが変わる状況では行動する用意がある」とも話し、追加緩和も辞さない考えを改めて示した。ユーロ圏内の経済については「緩やかだが着実に回復していく」と見通した。リスク要因として新興国の景気減速と英国の EU 離脱を挙げ、英国は EU に残留すべきだと訴える一方、ECB として離脱に備えていると説明した。

③ギリシャ中銀は、ECB がギリシャの ELA（銀行向け緊急流動性支援）の上限を 10 億ユーロ引き下げ 681 億ユーロ（761 億 8000 万ドル）としたと明らかにした。上限枠引き下げはギリシャの銀行セクターの流動性改善、および民間預金のフロー安定化を反映しているとした。ギリシャ中銀は、ECB の資金供給オペへの参加が認められなくなった 2015 年 2 月以降、ELA に依存してきた経緯がある。

＜ NY 債券市場 ・ 午前＞

序盤のニューヨーク債券市場は、原油先物や米国株の下落で投資家のリスク回避志向が強まり、安全資産とされる米国債の逃避買いが先行した。英国の EU 離脱に対する警戒感も、逃避買いを促した。

午前の利回りは、30 年債が 2.58%（前日 2.62%）、10 年債が 1.80%（1.84%）、7 年債が 1.62%（1.66%）、5 年債が 1.36%（1.38%）、3 年債が 1.02%（1.05%）、2 年債が 0.88%（0.90%）。

＜ポイント＞

OPEC（石油輸出国機構）は、ウィーンで定時総会を開き、原油相場の底上げに向け生産目標の再設定を協議したが、合意できなかった。増産の凍結も見送った。増産を続けるイランが反対するなど足並みが乱れたもよう。OPEC の 4 月の生産量は日量 3244 万バレル。昨年 12 月の総会で、既に形骸化していた 3000 万バレルの生産目標を棚上げしたこともあり、高水準で推移。今年 1 月に経済制裁を解除されたイランは増産に乗り出し、4 月には昨年比 22%増の 345 万バレルに達した。サウジも 1000 万バレルを超えている。

OPEC は総会で生産目標の再設定を協議。総会前に、サウジのファリハ・エネルギー産業鉱物資源相は「市場にショックを与えない」と再設定に前向きな意向を示した。制裁前の生産水準 400 万バレルへの復帰を目指すイランは OPEC 全体の目標再設定を拒否したと報じられた一方、同国のザンギャネ石油相は加盟国個別の目標を設けるよう求めた。

カナダの産油地帯の山火事やナイジェリアの石油関連施設の閉鎖で供給不安が高まり、ニューヨークの原油先物相場は 5 月 26 日、約 7 ヶ月半ぶりに 1 バレル=50 ドルの大台を突破した。価格が回復基調にあるため、OPEC では増産凍結の機運が低下している。

4:20

NY 金は、中心限月が前日比 2.10 ドル安の 1 オンス=1212.60 ドルで取引を終了した。

4:30

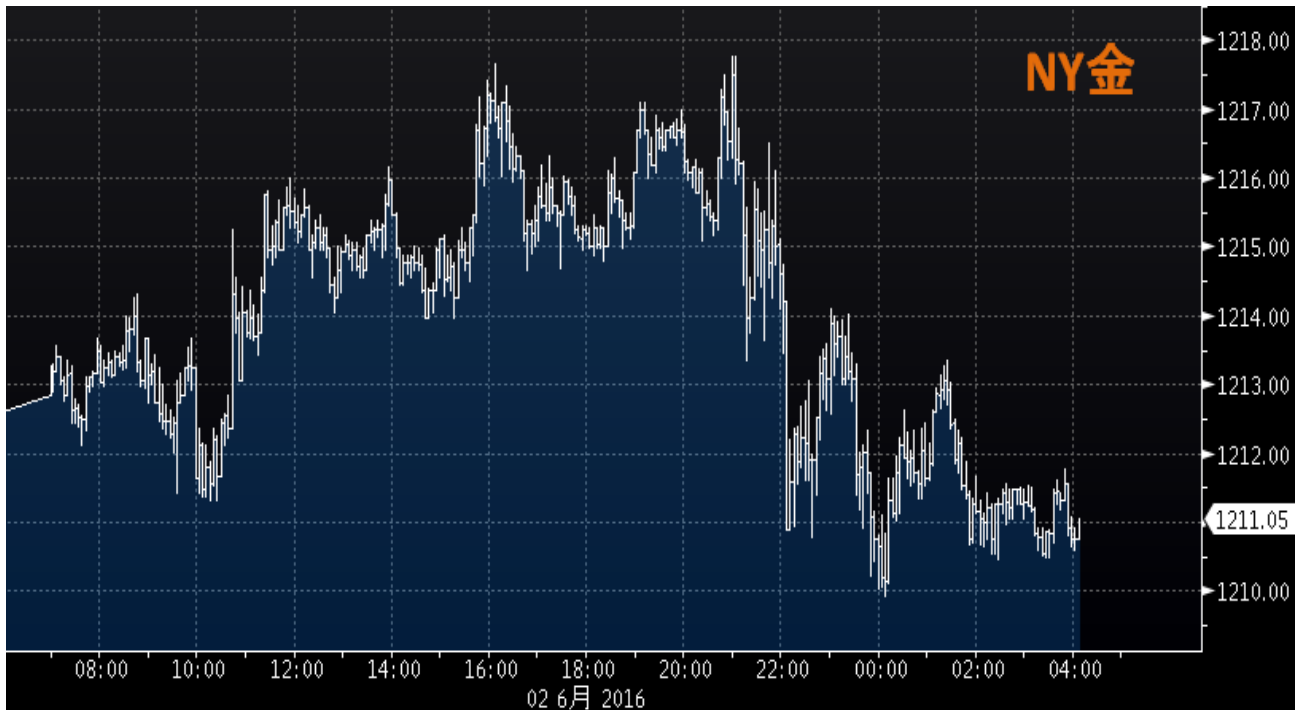
NY 原油は、中心限月が前日比 0.16 ドル高の 1 バレル=49.17 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1212.60	-2.10
NY 原油	49.17	+0.16

出所：SBILM

◀ NY 金市場 ▶

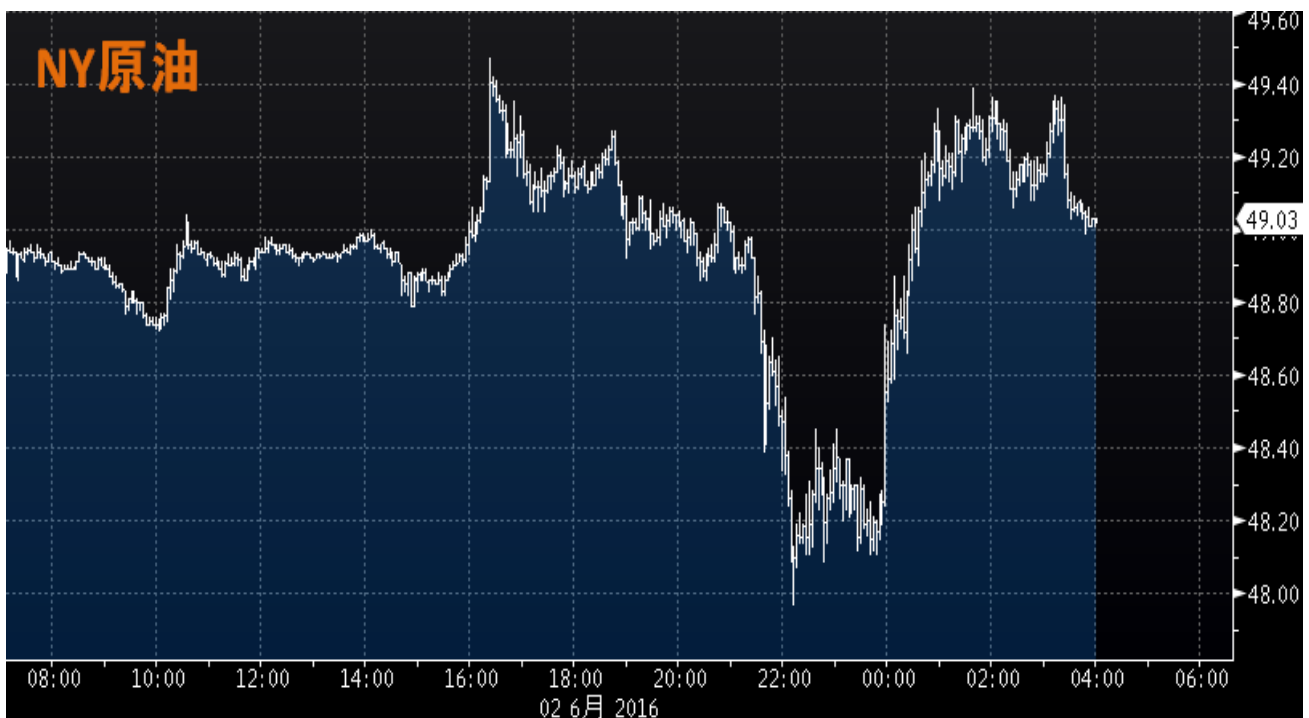
NY 金は、米 FRB による早期の追加利上げを警戒した売りが続いた。ただ、米雇用統計の発表を前に積極的な取引は手控えられたことから、値動きはやや限定的となった。



出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、OPEC が生産目標の再設定で合意できなかったことから売りが先行し、一時は 1 バレル=47 ドル台まで下落した。その後は、米石油統計で原油やガソリン在庫が減少したことで供給過剰に対する懸念が後退したことから買い戻しが優勢となった。



出所：Bloomberg

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17838.56	+48.89	17838.56	17703.55
S&P500 種	2105.26	+5.93	2105.26	2088.59
ナスダック	4971.36	+19.11	4971.36	4924.23

出所：SBILM

《米株式市場》

米株式市場は、OPEC が生産目標の設定で合意できず、原油先物相場が急落したことを受けて、石油関連株が大幅安となり、全体を押し下げる動きとなった。その後は、原油価格が上昇に転じたことから、株価も堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 86 ドル安まで下落した。その後は堅調な動きとなり、終盤にはプラス圏まで上昇した。



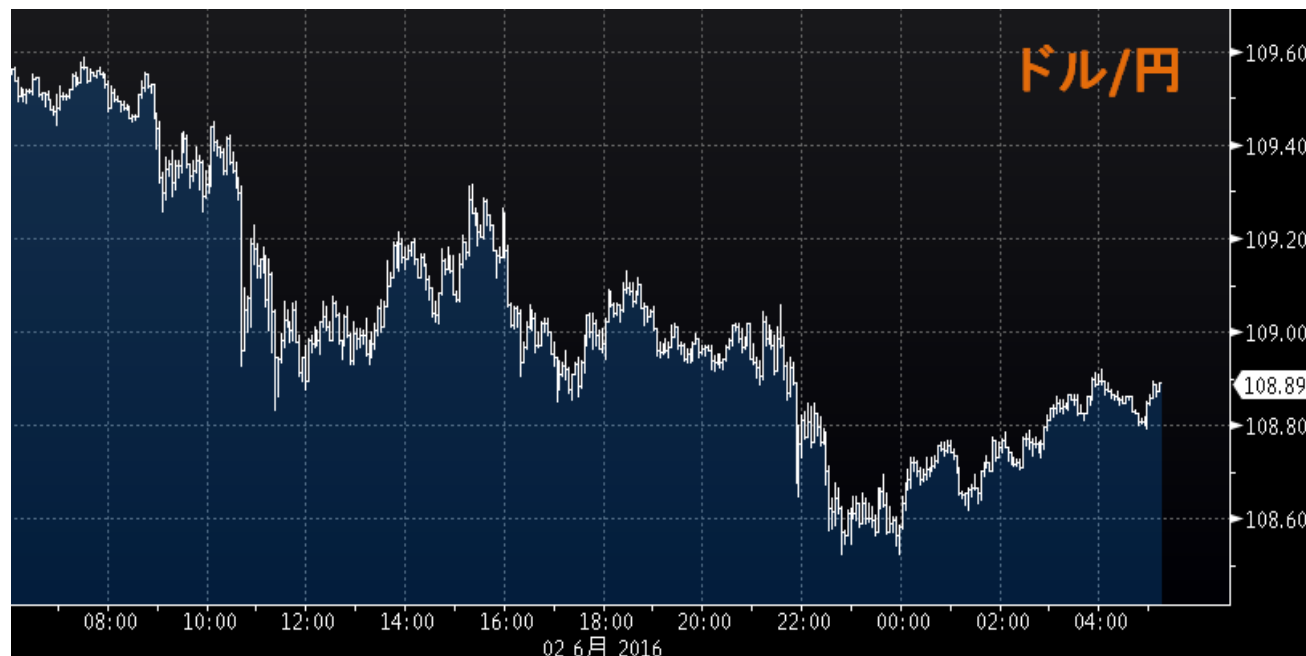
出所：Bloomberg

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.88	109.07	108.54
EUR/JPY	121.42	122.09	121.07
GBP/JPY	157.03	157.76	156.60
AUD/JPY	78.68	78.71	78.32
NZD/JPY	74.10	74.18	73.83
EUR/USD	1.1153	1.1217	1.1145
AUD/USD	0.7227	0.7233	0.7202

出所：SBILM

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤は OPEC 総会で生産凍結合意ができなかったとの報道を受けて、原油価格が大きく下落した。また株価も下落したことから、リスク回避の円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、その後は原油価格が反発したことから、株価も上昇に転じ、ドル円・クロス円も終盤にかけて値を戻す動きとなった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。